

きつね (1983)

メディア 映画

ジャンル ドラマ ロマン스

製作国 日本

色彩 Color

時間 104分

初公開日 1983/06/04

【解説】

井手雅人のオリジナル脚本を仲倉重郎が監督したドラマ。野村芳太郎が製作に名を連ねている。「フォークの神様」の異名を持つミュージシャン岡林信康の初主演作品としても知られる。

低温科学者の緒方は、北海道へひとりで保養に来ていた十四歳の万耶と出会い、一緒に楽しい時間を過ごした。しかし夏の終わりに緒方の愛人である友紀が訪ねてきたことから、万耶は生まれて初めて嫉妬を経験する。万耶に責められた緒方は友紀と別れるが、宿に戻るとすでに万耶の姿がなかった。秋になり、万耶は自分が「エキノコックス症」という難病に冒されていることを知ってしまう。彼女はブリザードが吹き荒れる中、唐突に緒方の目の前に現れ、きつねを撃ってほしいと頼むのだった…。

【クレジット】

監督 仲倉重郎

製作 野村芳太郎

野村芳樹

永井三樹男

脚本 井手雅人

撮影 坂本典隆

美術 浜野信男

編集 加川武志

音楽 千野秀一

助監督 佐光曠

出演 岡林信康 緒方

高橋香織 万耶

原田大二郎 三枝

三田佳子 友紀

野村昭子 おたき

矢野宣 管理人

小林哲子 万耶の母親

谷部勝彦 太郎

浜村純 病院の爺さん